令和4年(2021年)1月21日(金)(委員通知)

標記会議につきまして次のとおり報告します。

1 議題

(1)巡回教室について

○園から配布されたリーフレットに興味をもつ子どもたちがいたため、子ども向けの 意見等 リーフレットもあると、さらに良いと思いました。(簑島委員) ○もともと巡回教室も希望制とのことなので、資料配布も希望制にとのこと。 資料がとても分かりやすいので、周知先を広げてもと思えましたが、負担が増すだ けなら現状でも良いのかと。(栢森委員) ○コロナ禍では家で過ごすことが多いので、今こそ必要な情報だと思います。対面で 実施できず残念ですが、資料は見やすくて、分かりやすいと思いました。(石原委 員) 事務局より ○教室では、子どもに1枚ずつ食べ物のカードを配布しています。子どもが家庭に持 ち帰って、保護者に見せながら教室の内容を話すツールとして活用できるようにし ています。また、啓発資料(絵本等)の紹介を大人向けの資料に付け加えていきた いと思います。 ○資料の配布については、園児向けの教室と併せて、市内の幼稚園・保育所・認定こ ども園に御案内を送っています。今後も、より多くの5歳児の保護者に情報提供で きるよう周知し、普及啓発に努めます。園児向けの教室については、新型コロナウ イルスの影響により、今年度は対面での教室実施を見合わせましたが、令和4年度 は感染防止対策を行いつつ教室を実施する予定です。

(2) 5歳児生活実態調査について

意見等 ○対象児の保護者とは、折にふれて話題にすることがあったが、調査結果をもとに、 保育園と家庭での生活について、改めて共有することができた。(大内委員) ○昨年度の報告書の方が分かりやすかった印象にあります。(小西委員) ○回答者としての意見となりますが、調査の質問をもとに保護者たちで普段の生活リズムについて情報交換できたのが良かったです。(簑島委員) ○とりまとめありがとうございました。(栢森委員) ○丁寧な調査、ありがとうございます。実態がよくわかります。 「Ⅱ調査結果の概略」の4つ目の□に、夕食が遅くなりがちな保育園の保護者に、改善できるよう正しい知識普及を、とありますが、分かっていても早くできないご家庭があるのではないか、と思いました。(石原委員) ○外で活動ができるようになると良いのですが、実態調査を見ると密を避けるために公園へ行かないという回答がありました。家でできる簡単な運動などを紹介していただけると良いかもしれません。(石原委員)

心に考える方が多いようです。(中村委員)

○睡眠時間について、P4に、保育園児の就寝時間が遅いことから、遅くなりが ちな保育所に通う保護者らが改善できるよう正しい知識の普及をする必要があ ると記載さされている。P22で今よりも早く寝かせたいと回答している保護 者は44%であり、このことから保護者側も困り感があることが分かる。資料

○乳児の頃から、全体的に就寝がおそい方が増えています。保護者の生活リズムを中

- 1-2のように生活を踏まえた改善の提案が保護者にできると良いのではないかと思いました。(有村委員)
- ○朝食については、P23で、普段食べているものとして副菜を選択した者が32%であり、P4に記載されている朝食の中身の提案としては、保護者の皆様にお送りしている生活実態調査結果に記載されている、おすすめメニューのようなものや、野菜をプラスする簡単な方法等を提案できると良いのではないかと思いました。

※情報提供の資料を添付させて頂きます。(有村委員)

- ○テレワークにより父親が、お子さんと関わる時間が増えていることは注目に値する と思いました。(猪股会長)
- ○とてもわかりやすく、綺麗にまとめられた実態調査結果報告書でした。 この情報が多くの方に共有されることが大切だと思います。(猪股会長)

事務局より

- ○この調査がきかっけで保護者同士や園の先生方が考え、話すきっかけになったこと は大変嬉しく思います。
- ○保健指導等をする際、各家庭の状況に合わせて実施をしています。すでに正しい知識をお持ちのご家庭には具体的な取り組みの提案を実施し、御存じない保護者の方には正しい知識の普及とともに家庭で「生活リズム」について考えるきっかけとしていただけるよう引き続き保健指導していきます。
- ○外遊びに関しては、コロナの感染状況を考慮し連れて行けないという現状があることが今回把握できましたので、今後保健指導する場合は室内での体の動かし方等も 伝えて行けるとよいと感じました。今後、検討をしていきます。
- ○「肥満」と聞くと食事と運動というイメージが大きいかと思います。肥満と生活リズムも大きく関係していることを知っていただき、この調査結果が生活リズムを整える1つのきっかけにしていただけたらと思います。
- ○情報提供の資料ありがとうございました。朝食の意義や摂取内容等について、御提示いただいた資料を参考にし、さらなる普及啓発に努めます。
- ○父の育児参加に関しては、数が少なく統計資料としては「全体として関りが増えた」 といえる数値ではありませんが、コロナが及ぼしたよい影響の1つとして考えられ ると感じています。
- ○資料の見やすさについてですが、今年度から(株)ハイクラスと一緒に実施をした ため、今までの資料と大きく変更させていただきました。次回以降、さらに見やす いように資料作成の工夫を検討いたします。
- ○今回の調査内容が多くの方にもお伝えできるよう SNS 等を活用していきます。

(3) 5歳児生活実態調査からみた肥満度について

質問

○運動・食事 についての 啓蒙の工夫にさらなる改善の余地があるように思います。 学校の授業で改めて子どもたちに運動・食事の指導をお願いすることはできるので しょうか?

私の臨床経験では、食事や運動について頑張って工夫している保護者が圧倒的に多い印象ですが、子どもに運動の意欲が欠けていたり、好きなものしか食べなくて構わないと思っていることが多く、 子どもたちに問題意識を持たせること、何をしたらいいか指導することが大切だと感じます。 そういう意識づけは授業のような集団への働きかけが有効のように思います。(猪股会長)

事務局より 現在、各学校に対し、バランスの良い食事や運動、生活習慣についてのパンフレット 等を配布し、児童・生徒の指導に活用するよう依頼することを検討しています。 なお、授業としての運動・食事指導については、各学校の協力が必要となるので、教育指導課と協議してまいります。

意見等 ○肥満度が高い子どもは、就寝時間が遅いという結果が幼稚園と保育園それぞれにま とめられていて良かったと思います。(牧野委員) ○肥満度が増えている。注意喚起になるのでは。(小西委員) ○考察にあるように、太り気味以上のお子さんが増えてるのは、コロナ禍の影響が大 きいのだと思います。いつ解消されるのか、またコロナ後に改善されるのか、心配 なところです。(石原委員) ○コロナ禍の生活が子ども達の肥満にまで影響を与えていること驚きました。(栢森 委員) ○今回の調査は、参考値ではありますが、肥満が増加していることが明らかとなりま 事務局より した。事務局としてもこの状況は看過できないと感じています。まずは、実態調査 の保護者資料返却にて保護者へ情報提供をしていきます。併せて、SNS 等を活用し、 多くの方へも情報提供をしていく予定です。 ○今回の調査結果から、新型コロナウイルス感染拡大による自粛等が肥満増加の要因 と考えられるということが明らかとなりました。経年的に調査を実施することで、 「コロナ前」「コロナ渦」「コロナ後」の変化について確認することができます。今 後とも市内の幼稚園・保育所・認定こども園の皆様にはご協力いただき、現状把握 とその結果をもとに保健指導を実施していきたいと思います。

(4) 3歳児健診時の肥満対策強化について

意見等	○運動相談を2回受けたお子さんで改善が見られたのは良かったです。地道にアプロ
	ーチを続けていく必要がありそうです。(栢森委員)
事務局より	○今後も、運動相談を引き続き実施していきます。運動の大切さを啓発していきたい
	と思います。

(5) 肥満児童(小学4・5・6年生)と痩身児童(小学4年生)について

意見等	○肥満の改善はみられていない。(小西委員)
	○3と同様、コロナ禍の小学生も肥満傾向が増しているのにショックを受けました。
	運動不足は否めませんね。(栢森委員)
	○肥満児童は、やはりコロナ禍のR2、R3にぐっと増えてますね。(石原委員)
事務局より	令和2年度、3年度における肥満児の出現率の高さはコロナ禍における、休校や、習
	い事、遊びの自粛などによる運動不足や家で過ごす時間が増えたことによる間食等と
	関係があると考えられます。
	現在、各学校に対し、バランスの良い食事や運動、生活習慣についてのパンフレット
	等を配布し、児童・生徒の指導に活用するよう依頼することを検討しています。

- (3) 5歳児生活実熊調査からみた肥満度について
- (4) 3歳児健診時の肥満対策強化について
- (5) 肥満児童(小学4・5・6年生)と痩身児童(小学4年生)について

意見等	○コロナにより自宅にいる時間が増え、肥満が急増していることが分かりました。
	様々に対策を講じていらっしゃると思いますが、肥満対策に取り組む親子の様

	子や目標達成した事例の紹介等の当事者のモチベーションが上がるような情報
	発信があると良いのではないかと思いました。(有村委員)
事務局より	事業に取り組んでいく中で、例えば健診で肥満が見つかりその後の相談を重ね改善し
	た事例は多々あります。
	どのようなプロセスで改善をしていったのか好事例として紹介できるような資料の
	作成など検討していきたいと思います。

(6) 児童判定部会・児童健康教室について

質問	○対象児童 198 人に対し参加人数 23 人。コロナ禍というところもあり、なかなか難
	しいのか例年並みなのか。(栢森委員)
事務局より	H28 年度対象者 138 人 参加者 18 人 (13.0%)
	H29 年度対象者 137 人 参加者 15 人 (10.9%)
	H30 年度対象者 151 人 参加者 20 人 (13.2%)
	R 元年度対象者 165 人 参加者 12 人 (7.2%)
	R2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。
	R3 年度対象者 198 人 参加者 23 人 (11.6%) ※新型コロナウイルス感染症対策のため
	運動指導を実施せず
	対象児童の参加率としては例年並みと考えられます。

意見等	○健康教室に参加されるご家庭は肥満に対する意識が高いと思う。(小西委員)
	○健康教室は感染対策に十分に配慮しつつも、できるだけ開催することを希望しま
	す。(猪股会長)
事務局より	健康教室に参加されるにあたって、各家庭には普段の生活の様子や食事の内容の記録
	を提出するようお願いしており、そういった取り組みを実施できるということからも
	肥満に対する意識が高いことが伺えます。
	(健康教室に参加されないご家庭の意識を高めていくことも課題であると考えてお
	ります。)
	また、令和4年度以降も感染対策を行いつつ、健康教室を開催することを予定してお
	ります。

(7) 関係者研修会の内容について

意見等	○コロナ禍と肥満についての研修を取り入れてはどうでしょうか。(栢森委員)
	○オンライン配信は視聴者数を増やせると思います。関係者の方々にも、上記 3) で
	述べたように、子ども達への啓蒙の必要性をお伝え頂く内容を加えていただくこと
	を希望いたします。(猪股会長)
事務局より	○5歳児生活実態調査、肥満児童調査から、ここ2年間で肥満児童が急激に増加傾向
	にあることがわかりました。これは新型コロナウイルスによる自粛等、活動量の減
	少などの社会背景を考慮すると肥満児増加の要因となっても間違いはないと思い
	ます。このことについてデータをもとにお伝えするとともに、関係機関に知ってい
	ただきたい具体的な支援についてお伝えできるよう検討していきます
	○今までは、関係者や保護者が子どものために知識を得られるようにと思い、研修を
	行ってきました。様々な情報が得られやすい現在においては、子どもたち自身が生
	活習慣病予防について理解をし、行動するためための能力を持つことが大切だと考
	えます。そのような内容を盛り込めた研修にしていけるよう検討していきます。

(8) 令和4年度事業計画(案)

意見等	○今年度委員を受け、どの取り組みに参加しなければいけないのかよく分かっていな
	かったので、そこが次の方にもしっかり伝わると良いと思いました。(栢森委員)
	○コロナの影響が無く実施できることを願っています。(石原委員)
事務局より	皆さまからの貴重な意見をもとに、予定どおり事業を展開していきたいと思います。
	新たな委員の方には、『当市が展開している子どもの生活習慣病予防対策事業に対し
	てよりよい事業にしていくため、報告書の内容などをもとに忌憚のない御意見をいた
	だきたい』ということをお伝えできたらと思います。

(9) その他

意見等	○情報をいただきましてありがとうございました。職員間などで共有したいと思いま
	す。(大内委員)
	○コロナの中御苦労様です。(小西委員)
	○コロナ禍で書面でしか触れられずお役に立てず申し訳ありませんでした。コロナ禍
	の生活が子どもの健康にも大きく影響を与えることが分かったので、この取り組
	み、発信は重要だと感じました。(栢森委員)
事務局より	生活習慣病予防のためには肥満予防が何より重要です。肥満のリスクはコロナ禍で高
	まっていることは間違いないと思われ、本事業において子どもたちや子どもたちに関
	わるすべての皆様に事業の内容が伝わるように発信していきたいと思います。

2 その他

有村委員(平塚保健福祉事務所)から情報提供いただいた資料を添付いたします。

以上